

カリフォルニア大学アーバイン校（UCI）訪問団が附属病院を視察

病院総務部総務課

10月3日（木）筑波大学40+101周年記念、TSUKUBA GLOBAL SCIENCE WEEK ~Exploring Human Sciencesへ参加するために来日した本県と大学間交流協定を結んでいるカリフォルニア大学アーバイン校よりスティーブン・クレーマー教授他3名が附属病院を訪れ、陽子線医学利用研究センター及び術中MRI手術室を視察されました。

はじめにけやきプラザで、国際連携を担当する松村明副病院長より附属病院の概要について説明があり、引き続き櫻井英幸陽子線医学利用研究センター長から先端的放射線がん治療（陽子線治療）及び次世代がん治療：中性子捕捉療法（BNCT）について説明がありました。

その後、陽子線医学利用センター治療室、国内初となる可動式術中MRI手術室、ICU及び屋上ヘリポート等を視察されました。

訪問団からは多くの質問が出され今後の筑波大学との医学交流について積極的に推進していくことが話し合われました。



けやきプラザでの質疑の様子



術中MRIを視察する様子



屋上ヘリポートで記念撮影